

御嵩町新庁舎等整備事業

第三者検証委員会の調査報告書に関する町民説明会(質疑まとめ)

日 時:令和6年5月2日(木) 午後7時～午後8時

会 場:上之郷公民館 2階大ホール

町民) 評価委員会(プロポーザル選考委員会)が設けられ、委員長に副町長がなっていたということですが、これについて今回の第三者委員会の委員はご存知ですか。

町) 副町長に関しては地権者27名のうちの1人で所有する面積は全体の3%です。これら候補地の選定に関する資料は全て第三者委員会に提出し検証されています。プロポーザル選考委員会の件についても、委員会の設置要綱、協議の経過、議事録それら全てを第三者委員会に提出し検証されています。

町民) 私が指摘しているところは、委員会の委員長に地権者がなってもいいのかということです。その点について、第三者委員会の委員はご存知であったのですか。

町) 全ての資料を提供し経緯等も含め説明しています。第三者委員会においてそれらを検証し結論が示されています。その評価に対して特段意見を申し上げることはできません。

町民) 調査時間が延べ645時間以上と書いてあるが、3名の委員の延べ時間が645時間という理解でよろしいですか。

町) 3名の合計が645時間ということです。

町民) 木造にこだわることなくRC造やS造への変更も視野に検討すると良いということが書いてあるが、また新たに設計料がかかると思います。耐火建築物にするにはRC造やS造のほうがしやすいということはあるが、木造でもできないということはありません。事業費については妥当であると書かれているので、このまま木造で進めてはどうですか。

町長) しっかりと見直し、議論をした上で決定してまいりたいと思います。報告書の中では様々なご指摘や課題が示されています。そういった検証は行い、その上でスケジ

ユール感を持って進めてまいりたいと思います。

町民) 費用の話ですが、どこかを見直すとまた設計料がかかるような気がします。昨今の物価高も含めると、78億では納まらないのではないですか。その点についてはどのように手当する目途があるのでしょうか。

町長) 様々な見直しをし、改良を加えていけば費用が上乘せされる部分も出てきます。さらに物価高という側面もあります。その上で安全性が基本となってきますが、とはいえ過大なものにならないようバランスを考え進めてまいりたいと思います。

町民) 第三者委員会の評価が、何も問題ないと言わんばかりの話です。どんなことをやるにも全面的に何も問題はないということはありません。また現庁舎を40年で取り壊すことにも違和感を覚えます。御嵩町の中で色々な事業をやってほしいが、無限にお金があるわけではありません。庁舎はボロボロだが御嵩町はいいところであると言ってくれた方がプライドを持てる訳です。役場職員も自分の家を建て直す気持ちで考えて頂きたいです。どうせ自分のお金ではないというような気持ちでいられると困ります。

町長) ご意見として承ります。あくまでも華美にならないよう注意していかなければならないことです。ただ耐震性が無く安全性の確保が必要であること、緊急時における中枢拠点としての役割があり、その趣旨を忘れないよう取り組んでまいります。

町民) お金をかけて庁舎を作り、住民の税金が高まるようなことをしてもらっては困ります。人口が減っていく中で大きい庁舎を作るより、今の庁舎を少し直して使えばいいです。住民のためになることをやってもらいたいです。一番お金のかからない方法であるなら、例えば小中学校を合併し、今の上之郷中学校を庁舎にすればすごく便利が良いし、洪水の心配もありません。第三者委員会は、よその人間がやっているだけで、御嵩町の人が入っていません。

町長) 第三者委員会は客観性を求めるものです。委員に町内の人が入った場合、誘導という視点で後々見られる可能性もあります。あくまでも客観性をもった意見として伺い、それらを踏まえ今後検討してまいります。

町民) 地震が起きたら今の3施設は危険なわけです。死傷者が出たら誰が責任を取るのですか。いつ地震が起きるかわからない、大至急作らないといけないと思います。御嵩町にホールがないから恥ずかしいと言っておられる方もいます。みんなが反対しているように見えるが、実際はそうではありません。庁舎はいつ建つのだろうと言って

いる方もいます。そこら辺もよく考えてください。

町) ご意見として承ります。

町民) 第三者委員会では財源的には成り立つと検証されているが、今後その財源どおりに展開していけるのですか。将来本当にそれで大丈夫なのか、問題が発生するのではないかと危惧しています。

町長) 最初に必要な経費だけではなく、メンテナンスやランニングコストについてもしっかり見ていかなければなりません。これまでワークショップ等により頂いた意見をもとに作り上げてきた計画ではあるが、世の中も大きく変わってきています。コロナ禍での働き方の変容、住民サービスの仕様、機能面も含め町民の皆様のお知恵をいただきながら進めてまいりたいと思います。検討委員会の結果を尊重しながら方針を定めていきたいと思っています。

町民) 移転する場所は御嵩駅のすぐ近くということで利便性を考慮しているが、万が一鉄道が無くなった場合、今後は車でアクセスする方向になると思います。IT企業の若手を集めるといったインキュベーターのような事務所では、1~2人の人数で開業した企業もあります。コロナが収束した後は、他に仕事をしなくてもインターネットを使えば、少し都会から離れた場所でも事業を起こせます。今はそのような時代になっています。ここ数年で大きく変化しています。そういうことを考えるとこれまで計画は十分練ってこられたと思うが、臨機応変に計画を見直し、できれば事業グループを新たに設置してやった方が良いのではないかなと思います。

町) ご意見として承ります。

町民) 今後町民は何ができるのでしょうか。こういう町にしたい、こういう庁舎を作りたい、そういった意見がいつできるのですか。町民を巻き込むようなことは何か考えているのですか。

町長) これまでワークショップ等においてご意見を伺い、その意見を盛り込みながら作られた計画となっています。ただその当時から社会情勢も大きく変わっており、再度町民の皆様からご意見を伺う機会は設けてまいりたいと考えています。骨格の部分については既に議論され、出来上がっている計画もあります。ただし時代にそぐわない部分については変えていく必要があると考えています。

町民) 人口減少について、町としてはどのくらいの割合で減っていくと考えているのでしょうか。こうした中、地震がいつ起きるか分からない問題もあるが、何も新しい庁舎を作るだけが能ではないはずです。町は上之郷を周回していたバスを今年休止しました。なぜ休止したのかを聞いたら、経費がかかるからやめたと言われました。今までラスパへ買い物に行けた人が行けなくなり、生活ができない状態が起きています。その問題の方が大事で、何も庁舎作ればいいってものではありません。

町長) その件に関しては車座懇談会において自治会の方からお聞きしています。全てを一斉に解決できないため、できるところからしっかり取り組んでいます。地域の活性化や福祉サービス、これらも一緒に取り組んでいます。

町民) 今年から、独居のおばあさんとおじいさんを連れていくことをやめたことはおかしいと思います。防災センターへ運動で来る人は、バスで迎えにきているのに。

町) 事実確認させていただきたいと思います。